

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社クルーザー	代表者	梅澤一彦	法人・事業所の特徴	サービス付き高齢者住宅が併設している。また、隣接地に中規模病院があり提携しており、いつまでも安心・安全に過ごせるように、家族や地域の人々と共に支援できる関係作りを特徴とする事業所です。
事業所名	小規模多機能型居宅介護つどい	管理者	丸山 僚一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	人	1人	人	1人	人	4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部評価を行った結果を職員に周知させ共有させる	紙面や ICT（ビジネスチャット）を利用し、外部評価の結果を共有した。	職員全員が自己評価に取り組み意見が反映されている。	外部評価を通じ、サービスの改善、及び質の向上を目指すため、常勤スタッフ以外のスタッフにも項目の確認と共有を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議にて実際に制作レクなどで作成したものは見てもらっているが、事業所自体どんな様子かわからない部分もあるので今後、見学してもらう時間を設ける。	出席者が来訪した際には食堂や小規模多機能のデイルームの様子を見学してもらった。また、今までの運営推進会議の中で、写真を多く掲載し活動内容をイメージしやすいようにした。	食堂など、季節に応じた飾り付けなど、気遣いがあり、環境が良いと思う。運営推進会議の活動内容に写真が多く、どんなことを行っているのかイメージしやすい。	外出の機会を増やすためにも、サロン等、イベントがあればなるべく参加したいことを伝えた。イベントの予定を事前に教えてもらい、予定が合えば参加したい。
C. 事業所と地域のかかわり	可能であれば、もっとイベントに参加したい気持ちはあるので、できたら回覧などで知らせてもらう。町内会とも密に連絡を取り合う。	運営推進会議時に予定をある程度聞き取りを行う。外出の機会を増やすためにも、サロン等、イベントがあれば、参加したかったが、予定が合わず参加できないことが多かった。	介護事業所として知られている。事業所として、地域との関わりを持つため、なるべく地域の行事の参加や見学をしたい。地域の公園のゴミ拾い等も行うことができると思う。	イベントの予定を事前に教えてもらい、予定が合えば参加したい。また、関わりを持つため事業所で行うイベントも、お知らせしていく。事業所として入居する、しないに関わらず相談など、受け付けているので、事業所から、相談しやすい形を整えていく必要がある。まずはホームページやインスタグラムなどから、発信していき、周知を進めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	今年は夏祭りを行う予定とのことで、参加できるよう予定を立てておく。また、外出が難しければ地域の方に来てもらうこともできるので依頼する形を取り交流したい。	利用者様の運営推進会議の出席については声掛けを行い運営推進会議に参加し、交流してもらっている。コロナ後、初開催の町内での夏祭りに参加できた。また、誕生日を個別レクとして、外出や外食の機会を増やし支援につなげている。地域の方で制作の活動を行っている地域住民の方を紹介してもらい交流できた。	外出となると難しい部分があると思うが、町内のイベントの参加も前向きに考えてくれてありがたい。誕生日等、個別レクについて利用者様が喜ばれていると感じる。	地域とのかかわり同様、今後も地域の行事やイベントに参加していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>事例検討会について、今後、町内や包括から出た事例について、運営推進会議にて検討していく。</p>	<p>事例がなかったため、事例検討は行っていない。</p>	<p>周りや近所で、心配な方の把握がしづらく、難しい。 包括での事例についても、支援が必要な方がいたとしても、本人が様々な理由でサービス利用の拒否がある。</p>	<p>運営推進会議で事例や困りごとなどあれば、聞き取り、検討していく。 また、地域での取り組みを一緒に考えていく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>避難訓練等、もっと発信していく。また、訓練があれば地域の方の参加や見学を声掛けしていく。</p>	<p>水害訓練以外、行えていなかった。地域の方の見学はなかったが、利用者様の参加はある。</p>	<p>水害の訓練は運営推進会議にて写真や意見等議事録があり、わかりやすかった。 高齢者住宅と一体となっている為、施設全体での訓練が必要。</p>	<p>避難訓練等、施設全体で行う。</p>